

## 姫路文学学校準備室第二回目ご案内

日時・9月26日(月曜日)13時30分～17時

会場・ブックカフェギャラリー・クワイエット・ホリデー(Quiet Holiday)2階

姫路市本町68番地／姫路駅からみゆき通り商店街を北へ徒歩7分。国道2号線(東行一方通行)を渡り本町商店街の一本目の角を西に30メートル進む。内藤広告西隣「クワイエット・ホリデー」の2階。

※2回目は、俳人の夏石番矢氏による講義。※

『わが俳句軌跡の半世紀を語る—うなる川から世界俳句へ』

### 夏石番矢氏のプロフィール

俳人、明治大学教授。本名は乾昌幸。1955年(昭和30年)に兵庫県相生市生まれ。相生市立双葉小学校から、姫路の淳心学院中学校・高等学校を経て東京大学へ。既成の守旧俳壇とは一線を画し、国際的視野に立って俳句の進むべき道を切り開いている。季語以外に活路を見出すキーワードの提唱、コスモロジ－的俳句観、多言語俳句朗読、器楽演奏とのコラボの俳句朗読の実践など最前線を歩んでいる。海外での受賞も含め受賞多数。1998年から国際俳句季刊誌『吟遊』を発行し、2000年に世界俳句協会を創立し『世界俳句』を刊行。海外の詩人や俳人との交流や、俳句翻訳の活動などを多角的に活動している。今回の講義では夏石氏自らの半世紀を語られることで、「うなる川」のあり方から見えてくる俳句感なり、文学の発生の貴重な話になるだろ。

※参加には、自作の詩歌又は小説、エッセイを持参。10部程コピーして下さい。

持参できなくても合評会には参加し発言して下さい。

1部の講師には500円のカンパ、ワンドリンク発注が必要です。長時間でもあり菓子等の持込は可能。

自作の作品は当日に配布するので、詩は1～2篇。俳句・短歌・川柳は10句、10首程度。

小説、エッセイは1200字(原稿用紙3枚)程度。

1部講座は13:30より質疑応答含め1時間30分程度。休憩を挟んで17:00まで創作合評。

楽しくワイワイとやります。